



ほけんだより 6月号

2025年 6月 1日

ニチイキッズこじや保育園



先月は、咳、鼻水、発熱で体調を崩すお子さんが多く見られました。小さいお子さんほど体調の急変も考えられますので、早目の受診や病後の休養などを心掛けていきましょう。天気の変わりやすいこの時期は体調を崩しやすいので、十分に注意が必要です。空調を上手に利用しながら、いつも以上に気を配るようにしましょう。

虫歯予防デー



身体測定 6月 17日 (火)

※成長記録は、コドモンでもご確認下さい

歯科健診 6月 25日 (水)

虫歯を予防するためには、やはり歯みがきが一番大切です。お子さまが歯みがきをした後は仕上げみがきを行い、虫歯を予防しましょう。また、ご飯を食べる時はしっかりとかんで食べる習慣を付けましょう。肥満予防となるだけでなく、唾液がたくさん出ることで口の中を洗い流し、虫歯を防いでくれる役割があります。



虫刺され・植物かぶれなどに気をつけて！

虫刺されも植物かぶれも、ますかかないことが大切です。かいてしまうと傷から菌が入り悪化したり、とびひになることもあります。かき続けることで治りも悪くなってしまうので、充分に気を付けましょう。

蚊：子どもは蚊に刺される免疫が少ないので水ぶくれが出来ることもあります。刺されたらすぐ患部を洗い、炎症を抑える薬を塗ると軽く済みます。

ダニ：市販の虫刺され用の薬で効果がありますが、アレルギーなどで、全身に発疹が広がったり、ぜんそくや皮膚炎を引き起こす場合もあるので、その場合は受診しましょう。

ムカデ・ハチ：刺されるとすぐに強い痛みが出ます。腫れが強い場合は受診しましょう。以前にも同じ虫に刺されたことがあります。気分が悪い、息苦しいなどの場合にはアナフィラキシーショックの可能性があるので、早急に受診しましょう。

毛虫：毛虫の毛が刺さった場合は、セロハンテープなどを貼ってはがすと毛が取れるため軽症で済むことがあります。触るだけで強い皮膚炎を起こすこともあります。

植物かぶれ

植物の中には発疹や水ぼうなどを起こすものもあります。症状が出た場合、広がらないように衣類を着替えたり、患部を流水で流し、かゆみ止めなどを塗ったりしましょう。水ぼうは清潔なガーゼで覆います。患部が広がったり、かゆみが治まらない場合は受診しましょう。

